所長 山本 の

ワイズリレーインタビュー

第44回　株式会社 利宏商事
株式会社 Stairs　代表取締役 利府宏弥さんに聞きました！

二本の川が見事合流。自動車販売と就労支援施設の両輪で存在感のある企業へ。

Q まずは業務内容を教えていただけますか？

利府　中古車、輸入車、新車などを扱う車両販売店です。そのほか自動車に付随して、整備や車検、板金、保険も取り扱っており、お客様のカーライフをトータルでサポートしています。本店の「Brown Automotive」は輸入車や高級車がメインで、2号店の「Corner Shop」は身近な軽自動車からミニバンまで 30 台ほど、2019 年にオープンした北上の拠点は輸入車から軽自動車まで 40 台ほど展示販売しています。店名の「モーティヴ」は車屋さんという意味で、「ブラウン」は単純に茶色が好きなので。茶色の車もよく仕入れています。

Q Stairs という会社はどのような事業内容ですか？

利府　主に精神や知的障害を持つ方が通所する就労継続支援 B 型事業所です。職員のサポートによって社会参加を目指す施設で、内容としては自動車のルームクリーニングが主です。利宏商事で扱っている車両の清掃からスタートしましたが、今ではディーラーさんの中古車の仕上げも担っています。出張して現地で仕上げることもしていて、特色のある就労支援をしています。

Q 車両のルームクリーニングは珍しい発想ですね。

利府　まずは自社商品のクリーニングで、数年かけてある程度のレベルまで持っていき、その後、ディーラーさんに売り込んだところ、非常に納得と満足をいただき、仕事が増えていきました。段階的に技術や仕上がりの質の向上、設備投資を進め、今は事務所付きの広い倉庫で行っています。民間ならではの営業ノウハウを強みにして、障害者施設であることは関係なしに、しっかりとした料金で受けさせていただいています。他のお客さんからもお声がけをいただくのですが、支援施設なのでバランスをみながら無理のない進出、展開をしています。社名の「Stairs」は階段という意味で、段階的に施設も職員も利用者も上に向かって、より良い生活をしていこうという思いを込めました。

Q 名刺にある「アパート賃貸業」も関連性がありますか？

仕事をする上で大切にしていることは、ズバリ義理と信用。「気持ちよく取引をしたいので、後出しジャンケンやケチくさくはなりたくないです」。

利府　わざわざ書いている理由は、一般的な大家さんではなく、障害者施設と絡めた安い価格帯のアパートを運営しているからです。役所や社会福祉協議会から住むところがない人の相談を受けることもあるので、そのニーズをカバーするための賃貸業です。

Q 全て、つながっているんですね。最初から全部やろうと思っていたんですか？

利府　よく「随分展開していますね」と言われますが、やっていることは自分の経験の中から生まれたものです。キャリアの人は道は外さないと思いますが、私は目先にあることをやってみたいタイプで、起業してから車両販売と福祉が偶然つながりました。遡りますが、ディーラーの営業からスタートし、色々とやりたいことがあって 20 代最後に東京の商社に転職しました。ですが都会の環境に合わなくて 30 歳を前に帰ってきました。興味があった介護の資格を職業訓練で取得して、就労施設や介護施設に勤めましたが、契約社員のため月給は手取り11～12万円。施設で風邪をもらって休んでしまった時は 10 万円を切ることもありました。自分で考え、自分の思いで色々と転職したので自分の責任ですが、ワーキングプアになってしまったことに非常に葛藤を感じました。そんな時に結婚して子どもを授かり、色々と考えた結果、今までやってきたことで収入的にも合っている分野が自動車販売でした。今で言う副業から始まりましたが、家計でもう1本の柱を作ることができ、福

Monthly Person

株式会社利宏商事 / 株式会社Stairs 代表取締役

利府 宏弥（りふ・こうや）

盛岡市出身。盛岡大学を卒業後、スズキのディーラーに就職。その後、ヤナセや東京の商社を経て、Uターン。福祉業界で働きながら、個人で自動車の売買を行ううちに2015年に独立。これまで渡り歩んできた車両販売と福祉の2つがつながる。39歳。

思い出深い車は、26歳で購入したシボレーの1964年式シェベルワゴン。「床も穴が空いていたボロボロの車で、独立して余裕ができて、穴も塗装も直しました」。出番は少ないとはいえ、家族キャンプなどで活躍している現役。利府さんの車愛が感じられるインタビューとなりました。

有限会社イリク 取締役　荒木 政友 さんからのご紹介

社の仕事を退職しました。2014 年に滝沢に拠点を構えて、2015 年5月に法人格を取りました。まさか起業するなんて思っていなかったので、社名は単純に自分の名前にして、不安いっぱいの事実上の独立となりました。

Q 不安いっぱいだったんですね。

利府　現状から脱却するために結果的に独立したもので。今でも覚えていますが、貯金が 15 万くらいしかなくて、これが尽きたら就職しようと決めていました。なんとかそれに手をつけずにやってこられて、今もそのまま引き出しに入っています。

Q 他社と違うセールスポイントを教えてください。

利府　一つは車両クリーニングです。小さな規模で拠点によっては砂利の上で販売していますが、私自身、車のキャリアがディーラーでスタートしているので、中身に関しては自信があります。大きな会社でもクリーニングをしない店もありますが、当社はエンジンルームやトランク、室内までピカピカにしますし、諸費用も抑えて、車両も厳選したものを仕入れています。また、就労支援に関しては、国から給付金をいただいているのに事業に生産性がないと職員が生活するためのサイクルになってしまうので、本来の利用者の支援に結びつくように考えて進めています。利用者さんの特性に合わせて仕事を整え、工賃も個別支援計画と実際の働きに合わせて綿密に設定しています。工賃は決して高ければいいものではないので、自立に向けた生活リズムを作りやすいよう、総合的な支援を考えて行っています。

Q この仕事の魅力はどんなところに感じますか？

利府　自動車が好きなので、古いものから新しいものまでを見て触って仕事として利益が出せることは幸せだと思っています。さらに自動車の販売で福祉施設を運営できて、障害を持つ方の生活の一部を支えられることも大きなやりがいです。居場所ができると地域の方も安心ですし、家族も働きに出られるようになったり、見えない効果があると実感しています。

Q 自分なりの勉強や情報収集の方法はありますか？

利府　自動車の分野は新しい装備や技術を学ぶことはもちろん、ジムニーのように古いものにプレミアがついているケースもあるので、タイミングを逃さないように物の値段の動向も常にチェックしています。福祉分野は各機関との情報交換から学ばせてもらっています。将来的に北上でもルームクリーニングの拠点を構えたいので、地域での情報交換を大切にしています。

Q 会社としての目標をお聞かせください。

利府　福祉分野はニーズが増え、この春には雇用型の A 型施設も開所する見通しのため、職員と拠点も増やしていきたいです。自動車販売は私のライフワークなので世の中のニーズに合わせた形で今後もやっていきたいと思います。

Q 個人的な目標もお聞かせください。

利府　ダイエットと健康管理です。腰痛持ちで、今季は雪かきでギックリ腰もしてしまい、ストレッチやインナーマッスルをコツコツ鍛えていきたいです。

Q 最後に好きなタイプの芸能人を教えてください！

利府　好きな芸能人はローラです。美しいビジュアルと天真爛漫キャラの両立が素晴らしいと思います。

◎ 本日はお忙しいところ
ありがとうございました。

株式会社 利宏商事

Brown Automotive 滝沢市鵜飼上高柳 64　☎ 019-613-4589
Corner Shop 滝沢市鵜飼土沢 1-1　☎ 019-613-6430
Brown Kitakami 北上市村崎野 14-32-3　☎ 0197-62-7110

株式会社 Stairs

Y-STANDARD 滝沢市鵜飼洞畑 78-1　☎ 019-601-8022